



ホームページをリニューアルオープンしました!

■『ユーザー通信』新ホームページ



<http://ut-net.jp>

日頃より、『ユーザー通信』のホームページをご利用いただき、誠にありがとうございます。このたび、ホームページの全面リニューアルをいたしました。

メインビジュアルにおいて、『ユーザー通信』(新旧) の紙面を、エンドロール(クレジットタイトル) ふうに動画化したのが特長です。さらに、音声ソフトを活用した「読み上げ動画」化にステップアップして参ります。

また、当ホームページは、スマートフォンやタブレット端末からもご覧いただけます(スマホ用はリンクから動画ページへの移動となります)。

普段の紙面上にこそ、わざわざ文字として躍らせてはいませんが、一ものづくりそのもの「のみ」にはこだわらない『ものづくりワイドショー』との編集方針を目指して参りますので、今後も引き続きご愛顧いただきますよう、何卒よろしくお願ひいたします。

なお、9月中は現在の「<http://www.monodukuri-news.net/>」からホームページアドレスの変更案内を記述したうえで、新しいサイトへの誘導を行っています。

お客様の満足と生産性向上を目指し
最適な商品サービスをご提案します。

代理店・特約店

京セラ 三菱日立ツール イスカル オーエスジー 住友電装工業
美 不二越 サンドビック 日研工作所 三菱マテリアル
義和製作所 テグマック ダイジェット 株機工具 リルター

TKD 株式会社 タケダキカイ

京都営業所 ☎ 075-661-1811 FAX 075-661-1824
奈良営業所 ☎ 0749-26-1801 FAX 0749-26-1803
枚方営業所 ☎ 072-849-1888 FAX 072-849-1808
東京営業所 ☎ 077-552-7361 FAX 077-552-7371
岐阜営業所 ☎ 0584-77-5347 FAX 0584-77-5348
三重営業所 ☎ 0595-26-2730 FAX 0595-26-2731
尼崎営業所 ☎ 06-4950-0416 FAX 06-4950-0417
北陸営業所 ☎ 0761-24-0991 FAX 0761-24-0992

メールアドレス変更のお知らせ

10月1日より、株式会社ユーザー通信社のメールアドレスを変更することとなりましたので、お知らせいたします。変更前と変更後のメールアドレスは下記の通りです。

変更新アドレス

user@ut-net.jp

(変更前アドレス user@monodukuri-news.net)

9月中の1ヶ月程は旧アドレスでも受信可能ではございますが、アドレス帳にご登録されている方は、お早めに変更をしていただきますようお願いいたします。

この一本で、
多様な加工用途に対応

ADF
超硬フラットドリル



オーエスジー株式会社

JIMTOF
2016 2016年11月17日(木)→11月22日(火)
東京ビッグサイト 西1ホールW1029

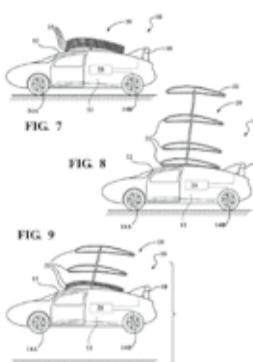
より必須の「管制インフラ」



「空飛ぶ自動車」の需要に備えよ!?

前号の人工意識に続々やベンチャーではなく、「近未来」的な話にく、子会社とはいえ、「あなる。どうやら、「空飛ぶ自動車」の開発、実用化が進むようだ。自動車産業に拠り、空飛ぶ自動車」の開所の多い生産財業界と、直、さほど新しくな正して「推移を見守るべきだろう。

ただ今回は、有志だけにニュース性が高い。自動車産業に拠り、空飛ぶ自動車」の開所の多い生産財業界と、直、さほど新しくな正して「推移を見守るべきだろう。



「空飛ぶ自動車」は屋根に4枚の羽根を備える
(出典: TEMAの特許出願)

米トヨタの開発・生産を統括する「TEM」が「空飛ぶ自動車」は「近未来」どころか、Aが「空飛ぶ自動車」のための特許出願を済ませたのが昨年3月。「数年後」の実用化が可能

2014年にスロバキアのエアロモービル3.0は、ないが、最先端技術を「特に白物」メーカーに

レギュラーガソリンを燃料とし、「飛行」時の最高速度は200km/h。航続距離は約700km。東京から岡山あたりまで「飛べる」計算になる。余談ながら、空飛ぶ

クルマは、特撮やアニメで「飛べる」とのタイトルで「空飛ぶ自動車」は屋根に4枚の羽根を備える
(出典: TEMAの特許出願)

メを見て育った世代にとっては、「ロボット刑事」の空飛ぶパトカー、「イナズマン」のライジングゴー(雷神号)、「怪傑ズバット」のズバットなど、むしろ「あの見出しが躍っていた。」と

数ヶ月前の「Wed

事」の世界観。なるほど、空中での完

全管制をほとんど自動

リカが自論む自動運転

の先/競争力はエンジ

ンから人工知能へ」と

カーナビ、むしろ「あの見出しが躍っていた。」と

つて当然」の世界観。なるほど、空中での完

一般でも米映画「バ

ーツ・トウ・ザ・フュ

ーチャー」のデロリア

ン号は名高く、「ついに

くるのだろう。

が、本当に必要になつ

てくるのだろう。

来たか」との感が強い。

各自自動車メーカーに

こういった、いわゆ

は昔から航空宇宙開発

部門がある。また、す

べから意氣消沈の家電

が、本当に必要になつ

てくるのだろう。

た車体はもとより、空

のセグメントこそ、日

中の「管制インフラ」に、本の製造業・日本人が

在技術力があるはずだ。

どれだけの重要性!!需

手掛けるべきものだと

思ふ。

これが発生してくるか計

思ふ。

思ふ

業界ニュース	
ONE	
3年ごとに開催される全日本機械工具商連合会(全機工連・前西孝夫会長)全国大会が、今年は東京で開催される。スローガンを、「挑戦する勇気」Newmanと zwarの大会プログ	ラムの概要が、次の通り決まりました。
開催プログラム概要	は次の通り。
長▽来賓紹介▽来賓代	は次の通り。



そのほか、販売関
連▽来賓紹介▽来賓代
は次の通り。

大機器協発行「工夫のるっぽ」

大阪機械器具卸商協同組合(理事長・前西孝夫会長)は、今年度の教育情報委員会の新たな取り組みとして、『工夫のるっぽ』(写真)を発行している。

写真は7月発行の最新第2号。

ト拉斯コ中山の中山哲也社長が、総務・その他分野で、「建築関連のオススメ!」として、①「四つ口コンセントがオススメ!」②「洗濯機置き場がオススメ!」を投稿している。

ALL IN ONE



生産効率の向上や作業時間の短縮、工具に求められる高い精度、耐久性、面粗度の向上など、あらゆるニーズにお応えします。

株式会社ノダ精工
<http://noda-precision.co.jp/>

今月の Special ANCA/シーケービー新ショールームがオープン

『TX7』『FX7』の設置完了、稼働開始



9月1日、オースト テーブルを配したミーティングルームも備え
ニアの工具研削盤メイカ ANCA、その
日本総代理店シーケー ニングや顧客へのレク
ビー(本社)東京都渋谷区渋谷 中川貴夫社
長)の新ショールームが、愛知県名古屋市守
山区新守町66にオープンした。

併せて8月中には、CNC工具研削盤「TX7」と「FX7」の搬入、設置が完了し、9月1日から稼働を始めている。

同ショールーム1階のサービスマンにつけられたシーケービーは商社としてアフターサービスの強化に努め

には、TX7、FX7のほか、ZOLLE

ASER社の金属造型機「M lab (R)」アのANCA本社に、

日本からピックアップされ、シーケービーが取り扱う製品も展示されています。

2階には、8人掛けのトレーニング受講の拠点となる。

アフターサービスの強化拠点として機能するなか、シーケービーは商社としてアフターサービスの強化に努め

た、シーケービーまた、シーケービーは商社としてアフターサービスの強化に努め

ては、ANCAのサービスの強化に努め

ては、ANCAのサービスの強化に

私のスカウティングレポート UT

第5回



テクノフロント・長尾吉訓社長

いまは

「会社が教育せねばならない」時代

上手いだけでは
プロじゃない!

町工場密度が国内屈指の東大阪市・高井田地区で、主要特殊鋼メーカーの金型用鋼材の販売、それらを標準プレートに加工した「TECプレート」の製造販売などを手掛けるテクノフロント。同社は10月に、昨年に続き、「メッセナゴヤ」の出展を控えているが、今春には、「INTERMOLD」(大阪)に初出展し、今年1月に日本総代理店となった中国・新余鋼鐵集團有限公司の次世代プラスチック金型用鋼「XGY55」そのものを、ドーンと積み上げてのブースは異彩を放ち、ひときわ目立った。

そんなアクティブな長尾吉訓社長が抱く、スカウティングレポートとは—。

—新卒採用について
長尾「今年は大卒4名。研修を担当した諸
名、高卒1名。また、先輩も、ガクツとなつ
キアリヤ採用2名の合
計7名が今春入社した
うだった。創業期に自

分が教える時にも、は、人から『ありがと
う』といわれる基本の
『社長、ちょっと話が
あります…』といわれ
たら、ドキッとしたも
のだ(笑)」

—新卒採用について
長尾「今年は大卒4名。研修を担当した諸
名、高卒1名。また、先輩も、ガクツとなつ
キアリヤ採用2名の合
計7名が今春入社した
うだった。創業期に自

地方紙記事のキーワードに見る スカウティングレポート

■科技高生が課外授業(静岡)
—県中部の企業を訪問 経営理念や技術研究

静岡市葵区の県立科学技術高は8月23日、地元企業の経営理念や技術などを学ぶ課外授業を県中部で実施した。1、2年生約100人がグループに分かれて製造業など21社を訪問し、企業研究に取り組んだ。

同区の切削工具メーカー「松岡カッターメーカー」には生徒5人が訪れた。

松岡克彦社長から主要製品の特徴について説明を受けた後、社内を見学した。

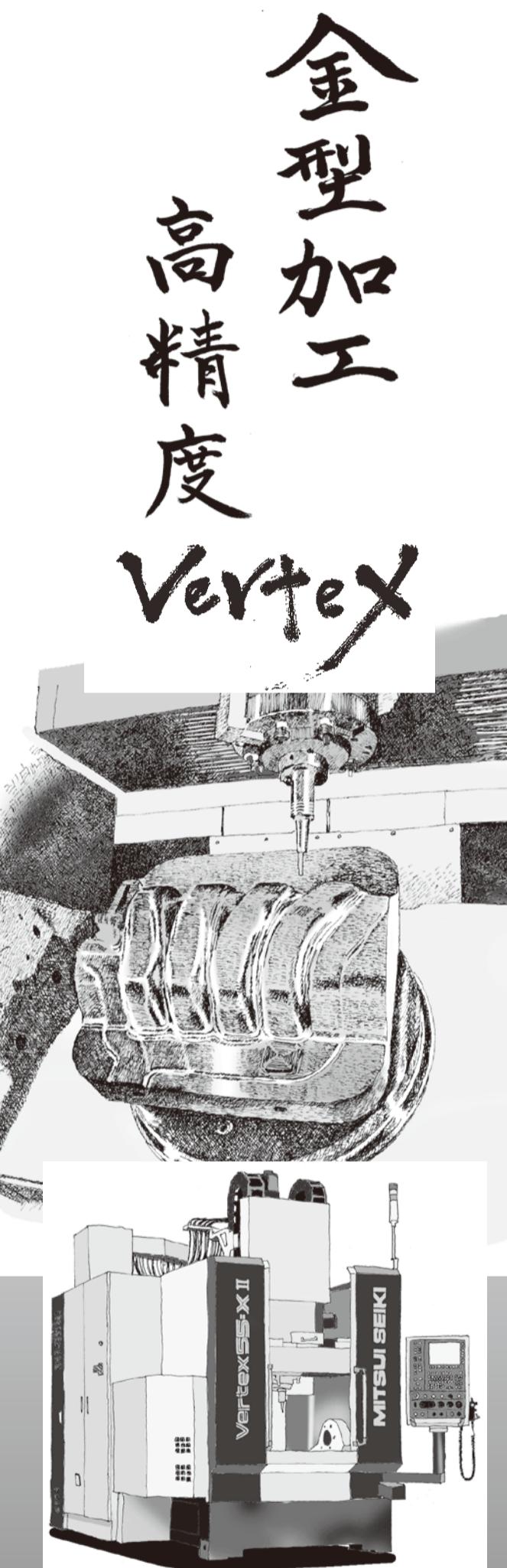
取引先の要望に応じ、多様な素材の高精度加工に対応する製品作りの一端に触れた。

2年の村越耕生さん(17)は、「想像以上に細かな作業が多く驚いた。技術が詰まった製品は美しく見えた」と話した。

課外授業は今年で9回目。しづおか信用金庫が人材育成に協力するため、取引先企業を学校側に紹介している。

MITSUI SEIKI

<http://www.mitsuseiki.co.jp/>



Vertex 55X II

f 三井精機のFacebook始めました!
<https://www.facebook.com/mitsuseikikogyo/>

三井精機工業株式会社

〒350-0193 埼玉県比企郡川島町八幡6-13
TEL:049-297-6333(営業推進部)

2016年9月~10月
これに行ってみ! イベントカレンダー

■国際総合物流展2016
LOGIS-TECH TOKYO 2016 -
(東京ビッグサイト)

【日程/開催時間】9月13日(火)
~16日(金)/10時~17時。

【会場】東京ビッグサイト(東京都江東区有明)。

【見どころ】物流・ロジスティクスの先進情報が収集できる日本唯一、アジア最大級の専門展示会。12回目となる今回は、会期4日間でロジスティクス講演会が4セッション行われる。

「ドローン」「IoT」「ビッグデータ」「AI」「ロボット」「省力化」「自動化」などをキーワードとした未来志向のソリューションなど最新情報盛り込みながら、物流現場における労働力不足という課題解決に向けた方向性を探る。

主な出展社は、防サビツールなどを提案する「もりや産業」(大阪市城東区)など、国内外456社。

■第4回『ものづくりVA・VE技術マッチングフェア in近畿・京都』
(京都パルスプラザ)

【日程/開催時間】9月14日(水)
/12時30分~17時。

【会場】京都パルスプラザ(京都府伏見区竹田)。

【見どころ】日本のものづくり企業の競争力強化のため、優良サプライヤー41社が出展し、「本当のコストダウン調達に必要なこと」一資材調達の段階からVA・VEを行なう、すなわち「開発購買」を提案する。

【主なセミナー】▽「劇的なコストダウンを実現する『工法転換』技術の基本と30の成功事例!」(船井総合研究所・片山和也氏)ほか。

■第18回『自動認識総合展』
(東京ビッグサイト)

【日程/開催時間】9月14日(水)

~16日(金)/10時~17時。
【会場】東京ビッグサイト。

【見どころ】「IoT時代のKeyテクノロジー」をキャッチコピーとし、IoTに必須のID技術の最先端を紹介されるとともに、ゾーン展示として「モバイル&ウェアラブルゾーン」、「画像認識ゾーン」、「センサネットワークゾーン」が設けられ、自動認識の次のステージが身近に実感できる。昨年は24,584人が訪れた。

【主な特別講演】▽9月14日(水)13時~13時40分。「パワートレイン製造ライン個体管理における自動認識の活用」(マツダパワートレイン技術部マネージャー・市本秀則氏)ほか。

■LaserTech 2016

(パシフィコ横浜)

【日程/開催時間】9月14日(水)
~16日(金)/10時~17時。

【会場】パシフィコ横浜(横浜市西区みなとみらい)。

【見どころ】微細・精密加工を中心マーキング、穴あけ、表面処理、ラピッドプロトタイピングなど、レーザーが可能にする先端加工に関わる技術・製品・サービスが集結する専門展示会として、次世代加工へのさまざまなソリューションを提供する。昨年は9,281人が来場した。

【主なセミナー】▽9月14日(水)15時~15時45分。「自動運転におけるレーザースキャナーの可能性と将来展望」(矢野経済研究所主任研究員・池山智也氏)ほか。

■「エヌプラス」~新たな価値をプラスする材料と技術の複合展~
(東京ビッグサイト)

【日程/開催時間】9月28日(水)

~30日(金)/10時~17時。

【会場】東京ビッグサイト。

~16日(金)/10時~17時。

【会場】東京ビッグサイト。

ものづくり伝承

『ライナーノーツ』

ツーリングコンシェルジュ・清水浩の
『実践ツーリング技術』(FTE)編⑮

研究データよりワイドな視点でツーリングを考える

話題をドリル加工に少し移します。

私がコンサルタントしている企業の鋳鉄製部品の多軸専用機は、約20本のハイドリルで構成されていますが、最近はハイドリルの価格が極端に上昇しているため、超硬の方がコスト的に有利なのです。

当時の使用ドリルはすべてハイスなので、切削速度は20m程度に設定されていますが、超硬に対する工具メーカー推奨切削速度は50~70mと表示されているので、超硬ドリルへの切り替えに躊躇する人がPCD対応と同様、多いのですが、実は私自身が30年ほど前に全面的に切り替えた機種があります。

工具メーカーの技術者は、自社では超硬を主体に研究して切削条件を設定されていることは、私も一緒に勉強をしてきましたので解しています。

ですが、工具メーカーには加工

現場でのトライアルデータ(いわゆる臨床データ)は少なく、ユーザー側はデッドストックされた工具の活用などから得られた想定外の実績で語ることも多いです。

従って本加工工程のドリルは、超硬メーカー側としては疑問を持たれることを承知しつつも、メーカーのガイダンスを逸脱することを理解いただきたいと思います。

前段のPCDの切削速度や超硬の切削速度などのように、必ずしも研究によるデータだけではなく、多くのユーザーによる実績によって、よりワイドな視野でツーリングを考えることも大切かと思います。

部品メーカーの若手社員は実践を経験したことが少ないので、工具メーカーが多くのユーザーデータを保管し活用されて、これから技術者に伝えていただきたいと思いました。(続く)

〈清水浩〉

ド』(高機能フィルム展/高機能プラスチック展/高機能金属展/高機能セラミックス展)。

【見どころ】4月に名古屋、6月に東京で開催された同展。大阪展では、毎年規模を拡大する西日本最大の専門展のほか、製造業をはじめとした工場ユーザーに必要な工場向け設備・備品に特化した専門展「工場設備・備品展」が、今年から加わった。

空調、清掃機器、刻印器、クリーンルームなどの設備から、作業服、作業工具、補給部材などの備品、加えて防災製品、省エネサービス、ITソリューションなどの関連製品まで工場ユーザー向けのあらゆる製品が一堂に展示する。

【主な基調・特別講演】▽10月6日(木)10時30分~11時30分。「日産における新たなクルマづくりへのチャレンジ」(日産自動車副社長・坂本秀行氏)ほか。

WAKO

生産性向上への必須アイテム
ドリル・リーマ・カッター・DIA・バニシング
製造工程の短縮化に寄与

【会場】東京ビッグサイト

**産業・工業・機械
基板用硝子**

耐熱用硝子
電子用硝子
石英硝子
光学研磨硝子
バイレックス
バイコール

平岡特殊硝子製作株式会社

〒550-0013 大阪市西区新町4-7-8
TEL. 06-6531-2505 FAX. 06-6538-2225

UT ユーザー通信

平成28年9月5日発行(第176号)毎月5日発行 年間購読料6,000円

発行所 株式会社ユーザー通信社 発行人 植村和人 (職業紹介責任者 番号001-140206131-06734)

〒550-0013 大阪市西区新町1-2-13 新町ビル

TEL. 06-6535-3250 FAX. 06-6535-3251

E-mail user@ut-net.jp

http://ut-net.jp

<http://www.wakogiken.co.jp>

MONTHLY ボックス席

『機能性フィルム展2016』に69社出展 塗工業界でも光るOSGの転造ダイス技術

8月25日、大阪産業創造館(大阪市中央区本町)にて、『機能性フィルム展2016』が開催された。

第5回となる今回は、導電性、衝撃吸収性、耐熱性、環境対応など特徴あるフィルムやシート、表面処理、スリット加工などの加工技術を持つ企業69社が出展した。

初出展の伊藤精工(京都市南区久世)は、得意とする精密打ち抜き金型、精密・微細加工技術の、フィルム打ち抜きへの提案をPR。

また同じく初出展したOSGグループの、オーエスジーシステムプロダクツ(愛知県豊川市上長山)は、グラビアインキの調色、塗布厚みの確認といった用途に、バーの素材そのものに溝を形成した塗



工用バーをアピールした。

近年、フィルム、紙、ガラスなどの塗工業界においては、コーティング膜厚精度や多層コーティングの品質向上などが強く要求されている。

そんななか、従来のワイヤーバーにはない特長を生かし改良する、OSG本体が長年構築した転造ダイスの技術が、こういったマーケットでの展示会でも輝きを見せていた。

DMG森精機

第2四半期(28年12月期)決算を発表

受注が順調な北米は、 ほぼ全域が直販体制に

DMG森精機(本社=名古屋市中村区名駅、森雅彦社長)は8月5日、東京グローバルヘッドオーダー(東京・江東区潮見)と本社をテレビ会議でつなぎ、平成28年12月期第2四半期(平成28年1月1日~6月30日)の決算発表を行った。

連結経営成績は、売上高1,853億2千万円、営業利益34億8百万円、税引前利益23億4千万円、四半期利益19億7千3百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益7億2千5百万円。

工作機械の需要については、国内市場では円高の進行や補助金を見据えた発注待ちから、前半の受注は力強さを欠いていたものの、7月には補助金が採択され受注は回復し、下期にはJIMTOFの開催もあり、国内需要は堅調に推移すると見込む。

北米市場は、代理店ビジネスモデルから直接販売・サービスに変革を進めており、すでに、残るディーラー3社のグループ化も決定し、ほぼ北米全域が直販体制となる。

組織再編、充分な人員体制の整備も含め、直販体制による顧客へのソリューション提供は軌道に乗りつつあり、北米受注は順調。下期にはIMTS(シカゴ)開催もあり、引き続き受注は順調に推移するものと見通す。

欧州市場は各地域において開催したプライベートショーも活況を呈し、底堅く推移している。中国市場の受注は横這いで推移、直販・ディーラー併用による販売強化に取り組み、経済高度

化のなかでのシェア拡大を推進している。中国を除くアジア市場は、台湾、ベトナム、インドでの受注が健闘している。

そのうえで、通期(平成28年12月31日)業績予想の修正ではなく、売上高4千100億円、営業利益250億円、当期利益145億円とする。

また、森社長および小林弘武専務をスピーカーとする決算説明会で語られた主な内容の抜粋は、次のとおり。

『CMXVシリーズ』で新たな製品展開図る



▽1~6月・地域別連結機械受注動向(カッコ内は昨年4~12月)=ド

イソ含む欧州53%(51%)、米州19%(15%)、中国含むアジア12%(16%)、日本15%(18%)。

▽同・業種別受注構成=機械26%(22%)、自動車・二輪20%(18%)、加工17%(15%)、ほか

▽同・機種別受注構成=5軸加工機32%(30%)、複合ターニングセンタ25%(26%)、ほか。

▽競争力ある新機種として『CMXVシリーズ』(写真)を9月受注開始。IMTSで世界初披露、JIMTOFでアジア初披露。全283種類の標準オプション、Technology Cyclesも搭載可能とし、新たな展開を図る。

● New arrived! 新製品セレクション ●

三菱マテリアル

サーメット材種『NX2525』にブレーカ追加



三菱マテリアル 加工事業カンパニー(本社=東京都千代田区大手町、鶴巻二三男カンパニープレジデント)は、鋼・鍛鉄旋削加工用

サーメット材種『NX2525』にブレーカ3種類を追加し、販売を開始した。

高い耐摩耗性と耐欠損性を保持し、仕上げ面の持続が可能なNX2525に、軟鋼の仕上げ切削加工用「FYブレーカ」、軽切削加工用「SYブレーカ」、炭素鋼・合金鋼の軽切削加工用「SAブレーカ」

の3種類を追加し、切りくず処理の選択範囲を拡大した。

それぞれの主な特長は、次の通り。

①波形切れ刃を持つ3ブレーカは、切込み量や切れ刃角が変化する扱い加工と引上げ加工に最適。

②FYブレーカ(8型番)は、伸びやすい切りくずを確実にコントロールし、軟鋼の仕上げ切削加工領域に幅広く対応。

③SYブレーカ(8型番)は、伸びやすい切りくずを確実にコントロールし、軟鋼の軽切削加工領域に幅広く対応。

④SAブレーカ(10型番)は炭素鋼・合金鋼の低送り側の切りくず処理が良好。

セコ・ツールズ

超硬ソリッドエンドミルに縮小ネック径追加



セコ・ツールズ(ジャパン本社=東京都大田区南蒲田、松田剛一社長)のJabro®-Solid2 JS554超硬ソリッドエンドミルシリーズに、より小さいネック径のオプションが追加された。

実用性と汎用性がさらに高まり、先進機能をさらに拡充。航空宇宙、医療、一般加工用途などの複雑なコンポーネント加工時に逃げを大きくできる。

ネック径が小さくなつたため、複雑な取り付け配列で配備された

部品にも容易にアクセスできるとともに、4軸および5軸加工能力をフルに活用できる。ネックサイズの最適化により、工具剛性が保持され、標準の工具ホルダ接続システムと完全に互換する。ISO P、M、Sおよびその他の被削材グループの被削材でも、性能を維持して、高い生産性で加工できる。

JS554エンドミルシリーズは安定性が高く、工具のたわみを抑える。工具径3~20mmを用意しており、標準切削長2xD+2mmに対応する。到達長は3xDc。また、コーナRと45度の面取り仕様も用意し、ストレートシャンクとウェルドンシャンクのいずれも使用できる。

THK

第1四半期(29年3月期)決算を発表

売上高は米・欧が増加、 日・中が減少

THK(本社=東京都品川区西五反田、寺町彰博社長)は、平成29年3月期第1四半期(平成28年4月1日~6月30日)の連結業績を発表した。

売上高は673億8千4百万円(前期比22.7%増)、営業利益は52億9千6百万円(同16.4%減)、経常利益は17億6千4百万円(同76.6%減)、親会社に帰属する当期純利益は5億4千100万円(同89.6%減)。

セグメントの業績は、売上高は日本=275億4千9百万円(前年同期比7.7%減)、米州=173億8千5百万円(同78.5%増)、欧州=134億7

千7百万円(同143.5%増)、中国=59億9千9百万円(同7.2%減)、その他=29億7千2百万円(同10.4%減)となった。

日本では個人消費が低迷するなかで、円高を背景に輸出に弱い動きが見られた点など、中国では経済成長の鈍化を背景に需要全体が減少した点などを売上高減少の要因とし、また米州と欧州の売上高増加に起因するものとして、医療機器や航空機、エネルギー関連やロボットなど新規分野への積極的な営業展開などを挙げている。

なお、通期での連結業績予想に修正はなく、売上高2,620億円、営業利益210億円、経常利益196億円、当期純利益140億円としている。

